

# 開催報告 第五福竜丸建造70周年特別企画 森で船を描こう

ふくりゅうまる



日時：2018年3月25日（日）13:00～15:30  
 場所：都立第五福竜丸展示館および夢の島公園  
 参加者：51名（大人25名、子ども26名）  
 主催：第五福竜丸平和協会  
 後援：東京都生協連平和活動担当者連絡会

## ◆ プログラム ◆

- 13:00 開会・あいさつ・名札作り
- 13:30 “第五福竜丸”って何で作られてる？ 木のお話  
 …玉木恭介さん（夢の島熱帯植物館名誉館長）
- 14:00 男鹿和雄さんと植物観察散歩  
 …男鹿和雄さん（画家・スタジオジブリ美術監督）
- 14:45 木で船を描くコラージュ工作【子ども】  
 お父さん・お母さんが学ぶ「平和と核兵器廃絶」【大人】  
 …安田和也さん（第五福竜丸平和協会事務局長）
- 15:30 閉会・アンケート記入

第五福竜丸は、1954年3月1日にマーシャル諸島海域でアメリカ合衆国がおこなった水爆実験による“死の灰”で被爆してしまった悲しい歴史を背負った船です。建造70周年を祝い、子どもたちは夢の島公園にある小枝や葉っぱをコラージュして船を描き、大人たちは平和と核兵器廃絶について学習をしました。



### 【木のお話】

玉木恭介さんから第五福竜丸が木でできていること、肋骨と竜骨が赤松でできていること、赤松と黒松の違いなどクイズを交えて教えていただきました。2000年前の日本は緑に覆われていたのに、現在の東京の緑は公園にしかないことも分かりました。



### 【植物観察散歩】

男鹿和雄さんと玉木さんと共に夢の島公園の中を散策して草木の名前や特徴を教えてくださいました。“マテバシイのドングリ”を炒ると食べられること、ユーカリの樹皮が大きく剥けることなど興味は尽きず、気に入った小枝やドングリ拾いにも夢中になりました。



### 【木で船を描くコラージュ工作】

男鹿さんのアドバイスを聞きながら画用紙の上に自分のお気に入りの小枝や実をならべてオリジナルの福竜丸を描きました。まだまだ作りたいたと時間を延長して完成させた後は全員で作品を持って船の前で記念撮影をしました。使いきれなかった材料も大切に持ち帰りました。



男鹿さんの作品です。何かわかるかな？

### 【お父さん・お母さんが学ぶ「平和と核兵器廃絶」】

安田和也さんから核兵器廃絶に向けた取り組みと、1945年からの核兵器使用と実験により放射性物質が北半球の中緯度に最も降ったこと、国連の常任理事国がすべて核保有国であることなどのお話を伺いました。被ばくした方の苦難を考えて「私たちは何ができるのか」考えてほしい、「ヒバクシャ国際署名」に参加することも一つの道であるとお話されました。

### 【アンケートより抜粋】

- 松の葉は全部2本なのかと思っていたが、ほかのものもあることがわかり植物への興味がわいてきた。室内だけでなく、フィールドワークがあったこととても良かった。
- 自然にあるものを使った工作がよかったです。
- とってもオシャレな船ができてよかった。